三十五議案を可決

十二月定例会　追加更正豫算など

市議会十二月定例会は十二月八日からひらかれ、三十五の議案を審議して何れも原案通り可決、十四日閉会しました。議決された主な議案は次の通り。

▽一般会計追加更正予算（別記の通り）▽監査委員に佐々木小太郎氏を選任、▽公平委員浜松富蔵氏選任、▽国保運営協議会委員泉山寿次郎氏選任▽市職員退職手当に関する条例の一部改正▽市職員定数条例一部改正（別記）▽市消防職員任免条例一部改正、▽市営住宅管理条例一部改正、▽手数料徴収条例一部改正（牛馬籍簿の閲覧一回十円、牛馬籍簿謄本の交付一枚三十円）▽土地処分の件（八幡沢岱二・八四八坪、東台三、一五〇坪）、▽市有財産売却にあたり随意契約すること（旧市役所二九五坪五合、その他）▽市有林立木を北秋木材へ売却（山館地区松七二石、杉一・七四七石三百二十三万円）▽駅前火災復興土地区画整理事業を築館組と契約（一丁目路線迄二九一米、四百八十二万六千五百円）▽一中・成章中の屋体工事を戸田組と契約（一千四百三十八万円）▽上水道工事起債七百万円、▽上川沿財産区議会条例制定、▽第一種簡易耐火住宅を築館組と契約（四百六十八万七千四百円）▽上水道水源地集水埋渠工事を伊藤建設株式会社と契約（四百五十万円）

定数を三十六名減らす

九月に職員七十二名が退職しましたので、この機会に市職員の定数条例を改正しました。総体で三七四名を三三八名に減じています。（カッコ内は今までの定数）

▽市役所職員＝事務吏員一〇三（一二六）技術吏員二四（三二）その他職員五〇（六八）計一七七（二一六）▽福祉事務所＝事務吏員八（八）その他の職員二（三）計一〇（一一）▽教育委員会＝吏員三二（三四）その他五三（六二）計八五（九六）▽大館農業委員会＝吏員三（二）その他（一）計三（三）▽合計三三八（三七四）。

バス特別委員決る

国鉄バス大館・毛馬内間運行誘致促進特別委員会を設けることに、十二月定例市会で決定し次の七名が委員に選任されました。

菅原勇治、奈良勉、八神錦三、石田憲蔵、越前孫吉、小坂元治、石田徳太郎。

なお委員長は八神氏、副委員長は石田徳太郎氏。

予算を七千萬円縮小

總額四億八千万円に

今回の追加更正予算で約七千万円を削減しました。これにより予算総額は四億八千九百万円になっています才入、才出の各款毎の額は次の通り

【才入】▽市税一三一、五〇九、二五〇円（三、〇五二七八〇円増）▽公営企業、財産収入、一一九、九七五、四七二円（五、六〇六、四〇〇〇円増）▽分担金、負担金二六五、四四二円（六九二〇四円増）▽使用料、手数料四、九八一、五三三円（四、四一七円減）▽国庫支出金七八、一七〇、九一〇円（二八、〇一〇五六三円減）▽県支出金六、八七五、三一九円（一、五九五、四四一円減）▽寄附金一一二、五二〇円（一一二、五〇〇円増）▽雑収八一八、五四九、三九七円（六、一三一、〇六五円増）▽市債六三、六〇〇、〇〇〇円（五五、三〇〇、〇〇〇円減）▽計四八九、一五三、八五三円

【才出】▽議会費八、七七三、三六九円（二、〇〇八、七七五円増）▽市役所費五六、三六〇〇〇一円（三七七、九七二円減）▽消防費一七、五七五、二九七円（一、九三〇、七五七円減）▽土木費二四、四四二、〇六九円（一三、〇二二、五六八円減）▽教育費六八、八三〇、一九六円（二四、四七三、二七六円減）▽社会、労働施設費六七、三三三、三七円（三、三八三、一四八円減）▽保健衛生費四、九六七、三一〇円（五、九六七、二一〇円減）▽産業経済費一五、三九七、六四四円（一五四、一一五円）▽財産費一一、九一七、七六六円（二三、〇一五、三二一円減）▽統計調査費七九四、五八〇円（一八、〇〇〇円減）▽選挙費二、三五四、一三一円（三三二、七三一円減）▽諸支出金一四五、五三〇、八五二円（二、一四五、五七〇円増）▽失業対策費一一、五六二、三四一円（一、四二七、七一九円減）▽計四八九、一五三、八五三円

秋田犬・ミカン・市長

静岡市の一青年が昨年十一月末に佐藤市長へ手紙を寄せて「秋田犬の子を一匹世話して下さい」と頼んできました、市長は犬をおくる準備をしています、これは十一月二十六日付の朝日新聞全国版に大館が招介されました。この記事を読んで静岡市の工員福地勇吉君（二五）は早速佐藤市長に「私は親兄弟にめぐまれない不幸な家庭に育った。今一人で働いている。犬が大好きで、一昨年いっぱいで犬を買う金を貯めた。ところが突然病気になり、犬のための金を使ってしまった、しかし犬の欲しさはつのるばかり若い市長さんにお願いがある。市長の友人のうちで犬を持っている人からわけてもらえないだろうか、お礼として静岡特産のミカン（最高級品）を一貫目ずつ十年間おくる」これを読んだ市長は「ミカンをおくってくれるとは愉快」と七日の列車便で犬をおくりました。この外にも犬の問合せが最近しきりにあるので、いささか手をあげています。

上川沿小に中学を併設

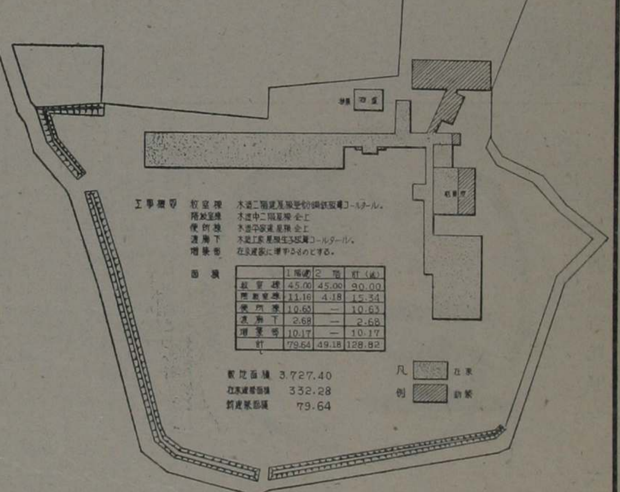
中山 山館　兩部落の生徒は新中へ

市では上川沿小学校へ中学校を併設することに決めて十二月二十八日市役所で入札を行いました。その結果市内三の丸笹谷建設へ二八〇萬円で落札、同建設では直ちに工事に着手し三月には完成することになりました。建設工事は図の通りで三学級四教室一一五坪です。新学期からは中山、山館部落の新中生は新しい中学校へ通うことになります。いまゝで扇田中学校へ通学していた不便はなくなることになりました。

◇

十二月三十一日に上川沿地区中山、山館部落の仮住民投票が行われました。その結果両部落の比内町へ分市希望する方が三分の二に達せず、分市をめぐる問題は終りを告げました。当日の投票総数は四六九（有効四六八、無効一）でその内訳は次の通りです。

▽現状のまゝ二三二、▽比内へ分市希望二三六、



十七日に議員選挙

上川沿財産区で

上川沿財産区議会の議員選挙が十七日に行われます。議員定数は十名で立候補締切は十二日まで。議員は財[illegible]の財産を管理するためにおかれるものです。選挙方法は市会議員選挙等と同じ、上川沿地区の有権者は一五四三名（男七六七、女七七六）、当日は棄権しないで、財産管理をまかせられる代表を選挙して下さい。

《年末の人出でにぎわった大町》

市勢要覧を編集中

市商工課では市勢要覧三十一年度版の編集にとりかかっています。今までの統計本位的なものだけでなく、物産紹介、観光案内を含めた写真を多くとり入れて美しいものにしたいと係は張切っています。大体二月の全日本スキー大会前には刊行したい予定。また絵はがき（八枚一組）も発行するよう準備をすすめています。

家庭室で食べ物の研究

桂城小　温室も總ガラス張り

桂城小学校に昨年秋以来、家庭室が建てられよい子たちは家庭科の学習として「食べもの」や「献立」の研究にいそしんでいます。この家庭室は旧校地に残した給食室を移築し、内部をすっかり模様がえしたので前よりも広く使えるようになりました。また中庭に総ガラス張り四坪の温室も完成し、理科部では新学期から本格的に活用しように張切っています（写真は家庭室でライスカレーをつくっている六年生）

北秋田観光協会解散

昭和二十八年春から発足した北秋田観光協会は昨年末解散することにしました。同観光協会の外にも大館観光協会や大館観光協会があり二重に加入している会員もあり、加入者に負担がかさむことや、駅前火災によって観光案内所の焼失で事業が坐折したことなどが解散の理由にあげられています。

初午詣で団体募集

大館駅では竹駒神社（宮城県岩沼）参拝「初午もうで」の団体を募集しています。日程は三月十五日から三日間。十五日に大館駅午前八時三十分発臨時列車で、日本三熊野の一つ「熊野神社」、「竹駒神社」、松島、花巻温泉などを一巡。コースは大館――山形県宮内町――岩沼―塩釜―新松島―新松島―花巻―大館。希望者は費用三千百八十円を添えて大館駅へ申込むこと。

成人式は桂高校で

十五日午後一時から成人式が桂高校体育館で行われます。

新しく成人になられる方は千百七十名、この日佐藤市長から成人証書が授与されます。なお、式後は旧踊劇団「わらび座」の観覧が行われる予定。

種鶏場利用を

春ビナ（鶏）の季節に入りました。大館種鶏場では年間三百卵種が続出という好成績で、種鶏の改良と共に経営合理化の研究もすすめて成果をあげており市民の利用を望んでいます。（写真は種鶏場自慢のバタン舎の内部）

今後、いまゝでのいきさつは水に流し新大館市建設に力を合せたいと思います。